

1 事業名等(Plan 1)

事業名	地域老人福祉推進事業				
所属名	福祉部 高年介護課 高年政策グループ				
第七次総合計画	政策	2 「やさしさ」のあるまちをめざして	分野	3 高齢者福祉	基本施策
予算科目	3	1	3	老人福祉費	費 31336
				老人クラブ活動費等補助金	事業
				地域老人福祉推進事業費	事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	高山市高齢者福祉対策等事業補助金交付要綱、高山市老人福祉計画(高山市健康長寿ふれあいまちづくり基本計画)				
事業の実施主体	市	市以外	高山市連合長寿会		
事業の実施方法	直営	指定管理	業務委託	<input type="radio"/> 団体等補助	その他

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	60歳以上の市民で構成される単位長寿会及び連合長寿会	受益者数	10,405 人
概要	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	明るい長寿社会と豊かな老後を目指す。		
	事業の実施手法、手順	高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている長寿会に対し、福祉の向上のために助成し、連合長寿会を通じて各種活動の育成、支援を行う。		
	事業始期・終期	始期: 年度から 終期: 年度まで 設定なし <input type="radio"/>		
	今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入		

3 事業費の推移・結果(Do)

区分	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)	11,000	11,000	13,930	13,900	13,900	
総合計画計画額(計画額)	11,000	11,000	13,930	13,900	13,900	
事業費(計画・予算・見込・決算額)	13,990	13,990	13,930			
財源	13,986	13,927				
内訳	国庫支出金					
	県支出金	6,445	4,734	4,724		
	地方債	4,500	5,725			
	受益者負担					
	繰入					
	一般財源	7,545	9,256	9,206		
	その他	9,486	8,202			
	H17国勢調査	96,231 人	32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価		
	コスト	145	145			
	指標	435	433			
	1,195	1,214				

【成果面】

活動・成果指標	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	活動の方向
活動指標(投入した行政資源を使い、どんな活動を行ったか、どのようなサービスを市民に提供したかを表す指標)								
活動指標	11,702	11,474	10,500	11,100	11,600	12,100	12,300	↑
成果指標(活動やサービスを行った結果、市民にどのような影響(効果)をどれだけ与えたかを表す指標)								
成果指標	48.5	46.8	42.0	43.0	44.0	45.0	45.0	↑

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	(現状及び判定理由)	高齢化の進展により、高齢者の生きがいと健康づくりの活動支援に対するニーズは高い。	目的評価	A:非常に高い B:高い C:低い D:非常に低い	A
②コスト面評価(事業費の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	(判定理由)	受益者一人当たりのコストは横ばいである。	③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	コスト・成果ポジション	E 第3水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

分析・評価(Check)により明らかになった課題・問題点

高齢者が健康でいきいきとした生活を送るためには、高齢者自身の健康づくりや、高齢者相互の助けあいや地域社会での助け合いの仕組みを充実させることが必要である。連合長寿会に加入しない単位クラブが増加する傾向にある。

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・継続 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/>
活動の方針	本補助金を有効に活用するため、連合長寿会における活動内容の見直しを進めながら、今後も継続することにより、各種活動の育成、支援を行う。
次年度の実施方針	○地域振興特別予算(31399事業)の老人クラブ活動費補助金の一本化を図る。

一次評価 主管課	III
判断の理由	高齢者が増加しているにもかかわらず、加入者は減少しており、補助の見直しとあわせて、支援のあり方を検討していく。

総合評価	中 低 IV
判断の理由等	「III」以上の水準に向けた改善が必要 高齢者が増加している一方で、高齢者の趣味や考え方も多様化し、組織に対する意識の変化等により、老人クラブ(連合長寿会)の加入率は低下している。本事業の目的は、高齢者の生きがいづくりや高齢者相互の助け合いを進めることであることから、長寿会に加入しやすい体制の構築を促すなどの取組みが必要である。